

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第5部門第2区分
【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2002-250491(P2002-250491A)

【公開日】平成14年9月6日(2002.9.6)

【出願番号】特願2001-396355(P2001-396355)

【国際特許分類第7版】

F 16 L 37/22

F 16 L 37/08

【F I】

F 16 L 37/22 Z

F 16 L 37/08

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月20日(2004.5.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

- 押しボタンは端部片を受け入れるための容積を区画しており、この押しボタンには、端部片を適合された配置にロックするために端部片の少なくとも1つの隆起した外側要素と協働するようになっている少なくとも1つの隆起した内側要素が設けられると共に、押しボタンはこれらの隆起した要素が離れるように相対移動する運動を制御するようになっておりかつ閉塞手段はハウジング内に端部片を固定することができ、その結果これらの隆起した内側および外側要素を離れるように移動させることができない。本発明のこの面のおかげで、押しボタンを変位させても、雄端部片を解放することができない。変形例では、押しボタンを、前記の隆起した要素を離れるように移動させることができない位置に、固定できるように閉塞手段を設けることができる。その場合に、その前記の位置に閉塞された押しボタンにより、端部片の隆起した外側要素が押しボタンの隆起した内側要素から離れるように移動するのが阻止され、その結果、端部片が押しボタンに対して固定される。どんな変形例でも、押しボタンの隆起した内側要素が端部片の隆起した外側要素と係合する位置に向かって押しボタンを弾性的に負荷するための手段を設けることができる。